

米子駅南北自由通路デザイン案について

令和元年 9月26日
都市経済委員会
都市整備部都市整備課

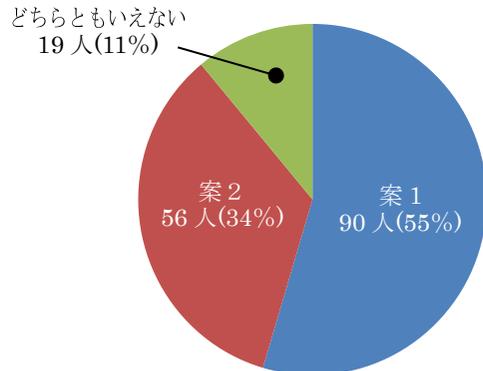
(1) パブリックコメントの結果について

現在実施している米子駅南北自由通路の詳細設計において作成した2つのデザイン案について、パブリックコメントを行い、次のとおりの結果となった。

- 1 実施期間：令和元年8月10日（土） から 同年9月9日（月）まで（31日間）
- 2 資料設置場所：本市ホームページに資料を掲載したほか、
都市整備課（米子市役所本庁舎2階）、総合案内（米子市役所本庁舎1階）
行政窓口サービスセンター（米子市役所第2庁舎1階）、地域生活課（米子市役所淀江支所1階）
市内各公民館、JR米子駅 に設置
- 3 意見提出者数：165人
 ※参考※第1回パブリックコメント（平成27年度実施）意見提出者数 49人
 第2回パブリックコメント（平成28年度実施）意見提出者数 64人

4 提出意見の内訳（意見の詳細は、P3～）

案1が良い	90人
案2が良い	56人
どちらともいえない	19人
計	165人



案1



案2



(2) 米子駅南北自由通路デザインについて

米子駅南北自由通路のデザイン案については、前記パブリックコメントや米子市景観審議会での意見を参考に、再度検討を行った結果、**案1**を基にデザインの深度化を図っていく。

各デザインに対する主な意見 及び 市の方針

	案1 (テーマ: 商都) が良い	案2 (テーマ: 自然) が良い	どちらともいえない
米子市景観審議会 (R01.06.06)	<ul style="list-style-type: none"> 米子にこのようなデザインのものはなく、インパクトがある。 目を引く。 ガラス面が大きく、内外から明るさを感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 違和感のない外観デザイン。 隣接する既存施設とのバランス、空間的な広がり良好。 1階部分が東西方向に人の流れが生じるデザイン。 	<ul style="list-style-type: none"> 両案とも強いイメージを受けない。(松江駅などの近隣駅も特徴的な立面ではないので、そういうものかもしれないが) 現時点で、商業施設の部分が分かっていない。
人数	4人	4人	2人
パブリックコメント (R01.08.10 ~09.09)	<ul style="list-style-type: none"> 中核施設としてシンボリック。 米子の顔としてインパクトがある。 目を引くデザインで、初めての人にも分かりやすい。 観光客が、通路から広場を見渡せ、バス停など探しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 周りの建物と調和する。 1階部分の開放感があり、利用しやすい印象。 南北だけでなく、東西にも広がりを感じる。 (全体を覆うファサードで) 駅のボリューム感がでる 	<ul style="list-style-type: none"> 両案とも、ステレオタイプの施設建設。 全国どこにでもあるデザイン。 実際に完成したらどちらの案でも馴染んでくると思う。 デザインには合理性や利便性が伴う美しさや格好良さがあるべきだが、両案には感じられない。
人数	90人	56人	19人



斬新でインパクトのあるデザイン



落ち着いた違和感のないデザイン

市の方針	<p>○現在の米子駅は、約50年ぶりの改修であり、今後の50年、本市、また、西部圏域の玄関口としての顔として、新たな時代の象徴となる整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 来訪者が最初に目にされる場所であり、地域の方にも米子駅と言えばこのデザインとだけ思っただけのランドマークとしての役割を持つデザインとしたい。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>◎ <u>案1</u>をベースに、<u>デザインの深度化を図る。</u></p> <p>南北の街を繋ぐ架け橋となる都市軸を、長大なフレームで表す特徴のあるデザインとなっており、南北一体化を表す新たな時代の象徴(駅)としてふさわしいと考える。</p>
------	--

米子駅南北自由通路等整備事業に係るパブリックコメント（第3回）結果（提出意見の詳細）

(1) 1案が良い 90人

○『案1が良い』とした理由

	意見の概要
<p>・インパクト、シンボル性がある</p>	<p>米子駅は、やはり「米子市の顔」ともいうべき存在であることから、インパクトのある方が良いため。インパクトのあるデザインで、周辺施設との違いが明確。自由通路から南北が見通せるのが良いと思う。</p> <p>米子は豊かな自然にめぐまれ、海も山もすぐ届くところにある。そこを強調しなくても案1のインパクトのあるデザインが米子のシンボルとなるのでは？</p> <p>開放感があって、人がいっぱい集まりそうだから。インパクトもあっていいと思ったから。</p> <p>ガラス面が大きくインパクトがある。</p> <p>活力ある米子にするためにも、インパクトがあるデザインが望ましいと考える。日本海圏域である金沢駅に似ているのでよりふさわしいと思う。</p> <p>目を引くデザインであるため。</p> <p>ぱっと見て目を引く、存在感がある。新しくするならリニューアルしたことがわかるように大きく変えるべき。窓が大きく開放感がある。</p> <p>米子市内には無い新鮮なデザインだから。</p> <p>案2の方がぱっとみた感じは落ち着きがあって良い。でも、何処にでもありそうなデザイン。案1の方が斬新で、写真に撮ろうと思えるデザイン。</p> <p>米子は商都として発展を遂げたこともあり、米子の人は比較的新しいものが好きとされている。そのため、斬新なデザインは、米子らしいと考える。</p> <p>他にないような斬新なデザインが良いと思う。</p> <p>斬新なデザインがいいと思う。駅が新しくなった、という印象付けにいいと思う。</p> <p>どこにでもあるデザインではなく「米子駅といったらこの面構えだね」と思える印象的なデザインであるため。</p> <p>建物が目立ち、駅が分かりやすい。</p> <p>米子市周辺であまり見られないデザインなので、訪れた方の印象に残りやすいと思う。</p> <p>駅の中から米子市の街並みが見れて尚且つ開放感がある。少し丸みがあって良いかも。インスタ映えの斬新なデザインの建物で観光客を呼び込む。ガラスはマジックミラー。</p> <p>米子市の顔としてふさわしい。</p> <p>街のシンボルとしてふさわしいのではないかとと思う。</p> <p>米子市の中核的施設としてシンボルアイコンとなる案をイメージして選択した。</p> <p>駅は街の顔になると思うので、一度見ただけで「米子駅」と印象づけができるデザインが良いので、案1のほうが自然光が入ってきて明るい駅になると思う。また、外の街並みが一望できる点も良いと思う。</p> <p>駅はランドマークであるべきだ。</p> <p>新しい駅にふさわしい。</p> <p>駅は街の顔です。駅に降りた瞬間、「米子に着いた」実感が湧いてくる、米子ならではの個性が必要で、街の玄関口から、他の街にない魅力のアピールが必要。住民もさることながら、訪問者を重視してこそ、街の発展の起爆剤にできる。最後のチャンスという覚悟で大胆に挑んで欲しい。案2の景観に調和ではなく、景観は駅から街をリードできると考える。ガラス張りを活かし、高層部分を追加し、演出を施して、米子自慢の資源、大山、錦海、米子城など最高のビュースポット、市民も空港利用客もわざわざ訪れる米子ならではの景観の贅沢を提供する場として誕生としてほしい。</p>

・大きなガラス面による開放感、南北の一体感など

北側と南側を貫いた自由通路を想起させるデザインであり、南北を一体化する力強さを感じる。無難に落ち着いてないこと、進取の気質の米子らしさとしてふさわしいのではないかと、観光客が米子に着いてから駅を出て思わず振り返った時の存在感や、旅の最後の思い出として印象が残ると思う。ガラス張りがとてもよかった。JR北海道の若見沢駅のようなデザインにされてみてはいかがでしょうか？米子には斬新で尖りすぎているほうが良い。もっと攻めて欲しい。

全面ガラスばりが近代的で美しいから。

ガラス面が大きく、眺めが良く、活用の方が広がる。立派な駅が無くなるのは少し寂しいが、逆に見通しは良くなるので、駅前通りから大山が見えるようにはなると良いが。（位置や角度的に見えるのかは分からないが、自由通路の先に大山が見えると良いスポットになる。）ガラス面が大きいとそういったメリットがあると思った。パリの歴史軸ではないが、米子駅前通り～米子合掌像～自由通路～大山という一直線の軸ができると良いと思う。また、大きなガラス面なら、単純に自由通路から大山を望めるし、ガラス面を駅構（交通の結節点と人生の結節点を掛けて）、カフェ、演劇、イルミネーション等イベントへの活用、映像を映して巨大屋外シアター、屋外広告、プロジェクトマッピング等としての活用など幅が広がる。これらは、市の直営ではなく、民間が活用できる場を提供するものとする。駅前広場を屋外で飲食や憩いができる場に、人が集える場所となると良いと思う。

全面ガラス張りのため、外から内部が見え防犯上よい。

ガラス張りなので、明るさを感じることができ、自由通路を渡ってすぐ外の景色が広がるのが良いと思う。米子の顔となるので、目立つデザインの方が良いと思う。

大きな開口で大きくアピールできる上に駅舎の中から駅前通りの雰囲気が見られて駅周辺と一体となれると感じたため。また、窓部分にいろいろと広告を貼ったり、飾り物をしたりなど、窓が大きいことでできることが増え、駅舎を有効活用できるといったため。

シンプルでデザインであり良い。ガラス面が大きく開放感がある。

開放的で明るいイメージ（案2は役所、病院、銀行の外観にありそうなお堅い印象を受けた。）

明るく開放感がある感じ。細かい説明はないので見た目判断しました。

開放感があり、「タラズ（多様性ともいえます）」に寛容な町、米子のイメージに合致します。案2は別の街の玄関口（空港）と同じに見る。

日差しや温度調整ができるのであれば、開放的な案1がよいと思う。

大きな窓が開放感を与え、とても明るく感じ、「みんなの社交場」としての駅のイメージをより具体化したように感じるから。

1案が、外がよく見えていい。

案1の方が自然光がたくさん入り、明るく思えるから。駅前通りの先にある建物なので、目を引くデザインでみんなの視線が集まってよいと思う。

通路や駅の中が明るそう。

米子にもこのようなデザインの建物が必要。周りが明るくなる。

現在の駅舎は、JRの支社機能が含まれているものの、建物としては、山陰では1番、中国地方の中でも大きい方に属している。このたびの自由通路の設置に伴い、2階建てと小型化することになるが、少しでも大きく見せるには、大きな窓で開放感が高く、階高の高い案1の方が望ましいと考える。

透明感がある。

駅前の広場を見渡せる。（南北共）観光客がバス停などを採しやすい。

・近代的、近未来的なデザイン

モダンで近代的。ウィンドウ・グラフィックスが素敵です。

米子駅前には商都のイメージの方がよりしっくりくる。デザインがより近代的。

都会っぽい。ガラスでさわやかだし、近未来を感じる。

近未来的なデザインだから。

案1の方が、他の米子市の建物にはない近未来感を感じさせるため。柱の少ないスマートな姿にも魅力を感じる。

今までの米子駅のイメージを刷新し、改めて未来へ向けた取り組みを行っていくという機運が高まると考えたため。

・その他

シンプルでいい。

案2は一階がオープンで格好が良いが、雨風の影響を受けそう。南側の雰囲気は断然、案1が良い。

雨対策がこっちの方がいいと感じた程度。

かっこいい。

スタイリッシュなデザインでセンスが感じられる。

デザインが好みだった。

雰囲気が好きだから。

変わったデザインで、毎日学校行くのが楽しくなりそう！

デザインが力強く、住んで楽しいまちのイメージがあるから。

商都だから。

北側のエスカレーター？が見えてない方がよい。

山陰には文化歴史を象徴する開放的なデザインを期待します。中に観光案内だけでなく美術館やレストラン、ホテルと連携したショッピング施設もお願いしたい。山陰観光の基点機能を期待したいので駅そのものよりも駅周辺のお店までの便利性を、駅から繋がる屋根付き延長廊下通路で繋がる設計もしやすいのでは．．．

万一、こちらのデザインとしても、必ず北側エスカレーターは室内設置にしてください。案1はあまり他の駅にはないデザインで、特に夜は遠くからでも目立つかと思います。

案2はおとなしすぎる。どこにでもある建物のよう。

案2は、デザインテーマを“力強く伸びゆく自然”と謳っているが、レンガの外壁を堅細に屋根面から突出させるファサードで“自然”の表現や、“自然”の堂々とした力強さを表現しているという主張に無理がありすぎる。満足のいくデザインとは言えないが、どちらかしか選択肢がないのであれば、1案の方がまだ説得力はある。また、案1、案2とも、市民や利用者へパブリックコメントを求めるのに際し、新米子駅の機能に対する説明が不十分な資料であったと感じる。外観パースだけでは、デザインを説明していることにはならず、今回のパブリックコメントは、ハリボテのファサード(外観)を2つ提示して、どちらが好みかを聞くアンケートの内容にしかすぎない。

案1に対する意見

地震時の落下防止やメンテナンス(クリーニング)の対策が必要。

ぱっと見ても日照(暑さ)、地震への対策が必要と思った。

空調管理大変そう。

南側は、2階へは外から直接上がるようだが、冬寒く、夏暑い山陰で大丈夫なのか？という気がする。

(2) 2案が良い 56人

○『案2が良い』とした理由

意見の概要
<p>・ 周りのビルとの一体感</p> <p>前駅ビルとの一体感が案2の方があると感じる。 山陰の要衝、鉄道の街の象徴にふさわしい。両側に隣接するJR西日本の社屋との調和。駅北広場再整備も北側2案に沿ったデザインを希望。 案2の方が明るいイメージだし、まわりの景観にも調和すると思う。 スッキリと駅との一体感がある。案1は、箱を載せた感がある。 案2は南北だけでなく、東西にも広がりを感じるデザインであり、開放的でのびやかな印象を受ける。「自然によってはぐくまれた文化」というコンセプトに沿っているように思う。周囲の建物との調和も取れていて、モダンな雰囲気でありながらも斬新すぎず、幅広い年代に受け入れられるデザインだと思う。また、一階部分がオープンになっているのも、人の出入りや雨宿りがしやすそうが良い。 周辺の建物と違和感がなく、なじむ。東西方向に出入りできるのが良いと思う。 周囲の景観になじむ景観だと思います。壁のないオープンな1階は人の動線が自由となるのでいいと思うが、近年の豪雨時を考えると気がかり。 案1はインパクトはあるが違和感を覚える。案2は落ち着いたデザインで誰もが馴染みやすいと思われる。 自然なデザインのため、周囲の街並みにも合いそうだと考えるため。</p>
<p>・ 1階部分の開放感</p> <p>凜とした外観で品格があると思います。1階部分の開放されている感じもよい。 壁がある部分が少なく開放的な印象があって良いと思うから。 案1は威圧感がありなじめない。開放的なデザインの案2の方がしっくりくる。 1階部分が開放的で利用しやすそう。大山の裾野をモチーフとなっているのも好印象。 一階が壁が無く柱だけということで、駅への入りやすさや、風通しの良さ、開放感がありより良いと感じる。 歩行者は1階を見ながら歩くので、1階がよく見える案2の方が良いと感じた。 どちらも甲乙つけがたいですが、案2は1Fが通り抜けになっており便利さを感じたから。 1階が壁の無いオープンな空間になっていて好感が持てた。 1階部分がオープンになっているので、立ち寄りやすいと思う。案1のガラス張りは、キレイに保つのが難しいのではと思う。 案1と案2の折衷案が個人的にはいいと思いますが、開放感のある大き見せするデザインが、米子、山陰の玄関口としてふさわしいと感じる。</p>
<p>・ コンセプトの「自然」</p> <p>日本有数のブナの大木郡を表している。色は樹木の色に近づけては？人がたくさん往来する場所です。人間の「動線」からしても、壁は邪魔になる。柱1本でシンプルにして、大空間を感じさせる構造意匠がいいと思う。 全面ガラスだと、もしかして西日が強くあたるかもしれないという事が気になる。また、県外から来市される方に対しては、自然豊かなイメージを強調した方が効果的と思う。 自然豊かな土地なので、2案を選んだ。 テーマ「自然」に共感したため。 自然が豊かな米子市、鳥取県をアピールする駅がよい。周囲の環境にとけこむデザインがよい。自然を生かしていくこそが鳥取県だから。</p>

・シンプルさ

建物の後方が低いものばかりでスッキリしているから。
スッキリしている。シンプルでよい。
落ちついたデザインで良いと思う。
北側面の一階部分のピロティの連続した柱が、整っていて良い。

・その他

案2の方が地震等、災害に強いように思える。
暖かみを感じた。ガラスは二重なのか？災害が多いので心配。昔の家は雨戸があったが、我が家のガラスは太い針金みたいのが入っている、やはり雨戸のかわりは欲しい。
案1の全面ガラス張りは開放的ですが、昨今の夏の酷暑を考えると、無駄に内部の温度が上がり、冷房にかかる費用が増えると思う。それを防止するために、結局全面ブラインドが追加設置されたりする可能性もあり、経済的ではないと思う。（ガラス張り部分は、冷房をかけないところなのかもしれませんが、そうすると、利用者が熱中症になるなどの心配がある。）
全体が透明ガラスより、間で見える方がオシャレだと思ったから。
見た目がカッコいいから。
駅がこじんまり見ると、米子市に來られた方の本市のイメージそのものがこじんまりとした印象を与えるのではないかと感じる。そこで、案2のほうが駅北側について、2階部分がボリューム感があるように映るため。
1案については「斬新でインパクトのあるデザイン」とのことであるが、両脇、周辺の建物との調和も含めて景観に馴染むとは思えない。また、斬新とも思えない（大きなガラス張りをしさえすれば良いなどといった考え方は短絡的）併せて、2案への意見で「違和感がない」が挙がっているが、1案と比較しての意見と思う。デザインの良し悪しは別として、違和感を感じるようなものにすべきではない。よって、消去法で2案（無難なデザイン）
一応、案2が印象的に良いが、北側と南側をそれぞれ「商都」、「自然」に分けても良いのではと思う。
デザインは表面だけで、中がよくわからないので、どちらとも言えないが、写真で見ると、案2の方がよさそうに見える。駅を利用しない人も、来て楽しい、にぎわいのある駅中を望んでいる。
案2の方が、ガラス面の内側から色々な模様や米子市のPR等が描かれた布や幕色々な飾り付け等を行うことにより、外側から見たら賑やかになりそう。

案2に対する意見

雨が多い山陰で、大庇はいいのですが、北側1階部分オープンスペースは、冬寒く、夏暑い米子には不向き。
(1階部分は)台風、大雪が気になった。(足元がすべりやすい)

(3) どちらともいえない 19人

○『どちらともいえない』とした理由

意見の概要
『どちらでもない』とした理由
<p>ファサードの外装的意匠は、いずれも秀逸で、清潔感、スタイリッシュさがあり、トップライト効果による明るさで日中の照明コストの低廉化が期待できて、好感が持てますので、いずれでもよいと思います。ひょっとしたら2案の縦スリット状の意匠が(あまり期待できませんが)ルーバー効果で空調効率向上に貢献できるのかもしれませんが。外壁清掃や修繕のしやすさ、内部空調の効き具合など長期的な維持管理のランニングコストの経済性を指標に決定することがよいと思います。意匠の物語性による説得力は、機能からの逆引きで自ずと成立すると思います。</p> <p>案1は上部分は良いが、下の部分が通りにくそう。案2は下部分は通りやすそうだが、上部分のデザインが案1の方のデザインの方が良い。</p> <p>デザインだけに注目するなら案1を推します。今後、新幹線の利用し、南の活性を見込むならこれくらいインパクトはあってよいと思います。案2はスッキリしており、これはこれでよいと思います。自然と共存する透明感があります。外観のみの良し悪しは決められなかった。</p> <p>使い勝手や将来の変化に対応できるような機能性が重要だと考えています。実際に完成したらどちらも馴染んでくると思うので決めきれない。</p> <p>もう少し華やかにしてもいいと思う。</p> <p>案1は駅というランドマークとして特徴のあるデザインだが、その特徴である大きなガラス面からの熱量が気になる。また、日常のメンテナンスを怠ると逆に寂れた感が出てしまうのではないのか気にかかる。案2は現市役所庁舎のタイル壁のイメージに近い感じで特徴に欠けるが、地上スペースの利用方法のアイデアで駅という機能以外の多様な使い方が期待できる。</p> <p>日本全国どこにでもある40年前と同じデザインという印象を受けるため。</p> <p>両案ともステレオタイプの“施設建設”に見える。可もなく不可もなく程度の素案を2案程度示されたところで、選択の仕様が無い状況。米子市は山陰においては唯一無二のユニークな土地柄と捉えているが、その玄関口である米子駅のファサードが、特徴のないボンヤリしたデザインである事で、いくばくかの投資効果が期待出来るのか？この設計素案は誰(企業?)の示されたものか？地元の才ある設計士の参加はあるのか？</p> <p>どちらの案も魅力を感じない。</p> <p>決定するものでなければアンケートすることはないと思う。</p> <p>両案のデザイン及びそのコンセプトは、類似例が全国にあり(JR北海道の苗穂駅、京王電鉄の桜上水駅(新駅舎)など)、米子駅としてのオリジナリティが見えてこない。また案1のように、壁面を全面ガラスとするような場合、普通の壁面ほどの強度は無く、地震の揺れや台風・冬場の強風を受けた際、不安でなる。</p> <p>そもそも駅周辺を何もしようとせず駅舎だけをいじくって何が都市整備か。米子駅は米子という街の玄関口で顔であるという事を再認識して駅のみならず周辺もセットで開発しないと駅舎だけいじくっても何も意味がないという事を認識すべき。既得権益と癒着団体に訳のわからない補助金/助成金を払う余裕があるならば、もっと意味のある税金の仕方をするべき。</p> <p>外部のデザインは、内部環境にも影響を及ぼすと思っている。内部の構造などがよく分からないので、どちらの案が良いか決めかねる。</p> <p>当初の計画では4階建て民間事業者を入れ、その固定資産税で南北自由通路の事業費を賄うというような構想を市長はお持ちだったと思うが、計画が縮小された経緯を市民にしっかり説明する必要があるのではないのか？駅南の遊休地も未だ利用計画がないようだが、このままでは極一部の駅南に住む人たちの利便性のためだけに60億もの税金を使ったことになってしまわないか？本当にこの米子駅南北自由通路事業が米子市の経済の起爆剤になりうるのか？しっかりと見通しが立たないのであれば、わざわざ駅の南北をつないで街を分散することは中心市街地の活性化にもコンパクトシティ化にも逆行することになりはしないか？計画縮小の説明も米子駅を中心としたまちづくりのビジョンも示されないまま、「どっちが好みですか？」と問われても答えようがない。</p>

案1について「南北の街を繋ぐ架け橋となる都市軸を、長大なフレームによって表します」とありますが、都市軸に対して長大なフレームがどうそれをデザイン的に現しているのか、飛躍していてデザインコンセプトとして脆弱のように感じる。安直なカーテンウォールはどここの都市部にもあるようなカーテンウォールのビルのように見え、米子の玄関口としてのファサードとしては凡庸すぎて、ふさわしくないように感じる。せめてカーテンウォールのパターンを考えてほしい。それが大開口カーテンウォールのデザインの基本だと思う。案2について「霊峰大山から日本海へと広がる“自然”を表現」とありますが、水平垂直の様がJR西日本の既存ビルと似すぎており、「既存の建物に合わせてつくって、それでもそれっぽいコンセプトは一応考えたんですよ」といっているようにしか感じることはできず、やはりデザインコンセプトに脆弱性を感じる。分節した壁面と柱のそれぞれの割合も自然を表現したい割には大味でどう表現されているのか、こちらも話が飛躍しているように感じる。それに大庇といいながらJR既存ビルとほぼ同じで、新しく玄関口としてつくるものにしては考えが甘すぎるように思う。既存に添わせるようにつくるならそうするで、もっとはっきりさせることが必要だと思う。ファサードデザインは比較的操作のしやすいものなのに、どちらの案もおよそデザインのできるひとが考えたもののように感じられない。デザインには合理性や利便性がともなっている美しさや格好良さがあって然るべきなのに、そのどちらも感じることはできないのは案として出してくるには質が悪すぎる。

提出方法及び年齢別応募者数

(1) 提出方法別人数

提出方法	人数
ホームページ	84人
E-mail	1人
FAX	2人
郵送	2人
持参	60人
意見提出箱（米子駅に投函）	16人
計	165人

(2) 年齢別人数

年代別	人数	案1	案2	どちらとも いない
～19歳	13人	7人	4人	2人
20歳代	20人	12人	6人	2人
30歳代	31人	20人	8人	3人
40歳代	35人	22人	9人	4人
50歳代	40人	18人	16人	6人
60歳代	13人	4人	8人	1人
70歳代	9人	4人	4人	1人
80歳～	4人	3人	1人	0人
計	165人	90人	56人	19人

